

LCD モニター

取扱説明書

LMD-941W

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

安全のために

ソニー製品は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。

7ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期点検をする

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします。点検の内容や費用については、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ❶ 電源を切ります。
- ❷ 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
- ❸ お買い上げ店またはソニーのご相談窓口までご相談ください。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる場合があります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く



アース線を接続せよ

目次

⚠ 警告	4
⚠ 注意	5
その他の安全上のご注意	7
使用上のご注意	7
液晶画面について	7
焼き付きについて	7
長時間の使用について	7
液晶画面の輝点・減点について	8
お手入れのしかた	8
結露	8
ラックマウントについて	8
廃棄するときは	8
ファンエラーについて	8
AC アダプター取り付け部の端子について	8
特長	9
各部の名称と働き	11
前面パネル	11
入力信号と調整・設定項目	13
後面／底面パネル	14
ハンドルの取り付け	15
アームマウントブラケットの取り付け	16
ラックへの取り付け (MB-531 を使用)	16
電源の供給	17
AC アダプターを取り付ける	17
AC 電源コードを接続する	17
基本設定の選択	18
メニュー表示言語の切り換え	19
メニューの操作方法	20
メニューを使った調整	22
項目一覧	22
調整と設定	23
設定状態メニュー	23
ホワイトバランス /	
カラースペースメニュー	23
ユーザーコントロールメニュー	23
ユーザー設定メニュー	24
リモートメニュー	32
キーロックメニュー	33
故障かな?と思ったら	34
保証書とアフターサービス	34
保証書	34
アフターサービス	34
主な仕様	35
寸法図	37



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。



アース線を
接続せよ

安全アース線を接続する

アース線の接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース線の接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。
取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口へ交換をご依頼ください。



指示

指定の電源電圧で使う

この取扱説明書に記されている電源電圧でお使いください。

DC（直流）電源で動作できるモニターは、この取扱説明書に記されている AC アダプターでお使いください。指定外の電源電圧での使用は、火災や感電の原因となります。



分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



禁止

通気孔をふさがない


通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 10cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。



禁止

ファンが止まったままの状態で使用しない

本機では、ファンが止まると前面パネルの （スタンバイ）スイッチのインジケータが緑とアンバーで点滅します。ファンが止まったまま使用し続けると、内部に熱がこもり火災の原因になることがあります。ソニーのサービス担当者にご連絡ください。

注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を
与えることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となる
ことがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電
源を切り、電源コードや接続コードを抜い
て、お買い上げ店またはソニーのサービス
窓口にご相談ください。



指示

設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店または
ソニーの業務用商品相談窓口にご相談くだ
さい。

壁面や天井などへの設置は、本機と取り付
け金具を含む重量に充分耐えられる強度が
あることをお確かめください。十分な強度
がないと、落下して、大けがの原因となり
ます。

また、1年に1度は、取り付けがゆるんで
ないことを点検してください。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置す
ると、倒れたり落ちたりしてケガの原因と
なることがあります。

また、設置・取り付け場所の強度を充分に
お確かめください。



指示

指定された電源ケーブル、接続ケー ブルを使う

この取扱説明書に記されている電源ケーブ
ル、接続ケーブルを使わないと、火災や故
障の原因となることがあります。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っか
けると本機の落下や転倒などによりけがの
原因となることがあります。

充分注意して接続・配置してください。



禁止

直射日光の当たる場所や熱器具の近 くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因と
なることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、
感電の原因となることがあります。



指示

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、
電源を切ってください。感電や故障の原因
となることがあります。



プラグをコン
セントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源 プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感
電の原因となることがあります。



指示

移動の際は電源コードや接続コード を抜く

コード類を接続したまま本機を移動させ
ると、コードに傷がついて火災や感電の原因
となることがあります。



指示

定期的に内部の掃除を依頼する

長い間、掃除をしないと内部にホコリがた
まり、火災や感電の原因となることがあり
ます。1年に1度は、内部の掃除をお買い
上げ店またはソニーのサービス窓口にご依
頼ください（有料）。

特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をす
ると、より効果的です。



水ぬれ禁止

水のある場所に設置しない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感
電の原因となることがあります。雨天や降
雪中、海岸や水辺での使用は特にご注意く
ださい。



指示

モニターの重量にあった三脚を使用する

モニターの重量に耐えきれない三脚または三脚以外に取り付けて使用すると、本機が落下し、けがの原因となることがあります。



注意

密閉環境に設置する際は注意する

本機をラックやモニター棚に収納した際、上下および周辺の機器によりモニター周辺の通風が妨げられ動作温度が上がり、故障や発熱の原因となる可能性があります。本機の動作条件温度 0℃ から 40℃ を保つように上下および周辺機器との隙間を十分に取り、通気孔の確保や通気ファンの設置等の配慮をしてください。



禁止

付属の AC アダプターは指定された製品以外には使用しない

他の機器に使用すると、火災や感電の原因となります。



指示

アクセサリーの取り付けや、本機との分離・合体を確実に行う

アクセサリーの取り付けかたや、本機との分離・合体の方法を誤ると、本機やアクセサリーが落下して、けがの原因となることがあります。取付説明書に記載されている方法に従って、確実に行ってください。



指示

電源コードのプラグ及びコネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。



指示

三脚・雲台を確実に固定する

三脚・雲台が確実に固定されていないとモニターが落下し、けがの原因となることがあります。



禁止

スタンドを持って運搬しない

スタンドを持って運搬すると、スタンドの破損により本機が落下してけがの原因となることがあります。



禁止

AC アダプターを持って、モニターを移動しない

運搬するときはモニター本体底面を持ってください。

AC アダプターを持って運搬すると、本体が落下してけがの原因となることがあります。



指示

ハンドル、アームマウントブラケットの取付は確実にを行う

ハンドル、アームマウントブラケットの取付ネジがゆるんでいると、本機が落下してけがの原因となることがあります。取付ネジは確実に締めつけてください。また定期的に取付ネジがゆるんでいないことを点検してください。



指示

傷んだハンドルは使用しない

ハンドルを長期間使用していると劣化してくる場合があります。傷んだハンドルを使用していると、本機が落下してけがの原因となることがあります。

ハンドルが傷んだ場合はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

その他の安全上のご注意

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

本機をラックに設置するときは、本機の上下部および後面に以下の空間を確保してください。

上部：4.4 cm 以上

下部（スタンドを使わない場合）：1.7 cm 以上

後面：10.0 cm 以上

機器を水滴のかかる場所に置かないでください。また水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないでください。

警告

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。

アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。

他の機器には使用できません。

警告

イヤホンやヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

壁やラックへの設置については、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

使用上のご注意

液晶画面について

液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。

液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、LCD（液晶）パネルの故障の原因になります。

寒い所でご使用になると、横縞が見えたり、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

焼き付きについて

一般に、LCD（液晶）パネルは、焼き付きが起こることがあります。画面内の同じ位置に変化しない画像の表示を続けたり、くり返し表示したりすると、焼き付いた画面を元に戻せなくなります。

長時間の表示で焼き付きが発生しやすい画像

- 画面縦横比 16:9 以外のマスク処理された画像
- カラーバーや長時間静止した画像
- 設定や動作状態を示す文字やメッセージなどの表示

焼き付きを軽減するには

- 文字表示を消す
MENU ボタンを押して、文字表示を消します。接続した機器の文字表示を消すには、接続した機器を操作してください。詳しくは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 電源をこまめに切る
長時間使用しないときは、電源を切ってください。

長時間の使用について

固定された画像または静止画などの長時間連続表示や、高温環境下で連続運用した場合、LCD（液晶）パネルの特性上、残像や焼き付き、しみ、すじ、輝度低下などを発生することがあります。

特に、アスペクト変更などで表示エリアよりも狭いサイズで表示し続けた場合、パネル劣化の進行が早まるおそれがあります。

静止画などの長時間連続表示、または密閉された空間や空調機器の吹き出し口付近など高温多湿環境下における連続運用を避けてください。

モニター使用時に輝度を少し下げたり、モニター未使用時に電源を切ったりするなどして、上記のような現象を未然に防ぐことをおすすめします。

液晶画面の輝点・滅点について

本機の液晶パネルは有効画素 99.99% 以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。また、液晶パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

モニター画面のお手入れについて

モニターの画面は反射による映り込みを抑えるため、特殊な表面処理を施してあります。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをお守りください。

- スクリーン表面についた汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはスクリーン表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

結露

本機を寒い場所から暖かい場所に急に移動したり、湿度の高い部屋で使用したりすると、空気中の水分が水滴となって製品内部に付着することがあります。この現象を結露といいます。

本機には結露を警告するランプなどは備えていません。外筐に水滴が付着したときは、電源を切り、結露が解消するまで待つてから使用してください。

ラックマウントについて

ラックマウント時は、性能維持のため上下に1 U 空けて、通気孔の確保や通気ファンの設置を行ってください。

廃棄するときは

一般の廃棄物と一緒にしないでください。

ごみ廃棄場で処分されるごみの中にモニターを捨てないでください。

使用済みのモニターは、国または地域の法令に従って廃棄してください。

ファンエラーについて

本機には冷却用ファンが内蔵されています。前面パネルの○（スタンバイ）スイッチのインジケータが緑とアンバーで点滅した場合（ファンエラー警告）は、電源を切り、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

AC アダプター取り付け部の端子について

機器に搭載されている AC アダプター取り付け部の端子（AC アダプターとの接点部分）は消耗品です。

振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。

長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。

点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

特長

LMD-941W (9 型) はフル HD (1920 × 1080) 液晶パネルを搭載した高精細、高性能の放送／業務用マルチフォーマット液晶モニターです。デジタルとアナログの主要放送信号および HDMI¹⁾ 入力に対応し、さまざまな用途や目的に合わせた調整機能を備えています。

¹⁾ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。

高性能フル HD (1920 × 1080) LCD パネル

高精細、広視野角特性、優れた色再現を提供します。屋外で使用するときは、遮光フードとコネクタプロテクターおよびキャリングハンドルの組み立てキット (モニター ENG キット VF-510、別売) をお使いください。

カラースペース変換機能

ソニー独自のカラースペース変換技術「ChromaTRU」を搭載することにより、放送規格 ITU-R BT.709、EBU、SMPTE-C の色域を再現できます。モニターウォールやラックマウントで使用する際に、色の合ったモニターを並べて映像を確認できます。

堅牢かつ軽量薄型

筐体にアルミダイキャストを採用し、堅牢かつ軽量薄型設計でラックマウントにもポータブルにも適しています。放送中継車への重量負担も軽減され、より広い作業空間が得られます。

I/P モード選択機能

インターレース信号用の I/P 変換の種類を、目的に合わせて選択することができます。

◆ 詳しくは、「システム設定」(24 ページ) をご覧ください。

画面の表示切り換え

放送業務用モニターとして便利な各種項目を画面に表示できます。

センターマーカー、アスペクトマーカー、スキャンなど、用途や目的にあわせて切り換えて選択表示します。

◆ 詳しくは、「マーカー設定」(25 ページ)、「ファンクションボタン設定」のスキャン (29 ページ) をご覧ください。

入力波形 (ウェーブフォーム) / オーディオレベル / ベクトルスコープの表示

入力信号の波形やオーディオレベル (エンベディッドオーディオのみ対応)、ベクトルスコープを画面に表示できます。

◆ 詳しくは、「WFM/ALM/VECTOR (ウェーブフォームモニター / オーディオレベルメーター / ベクトルスコープ) 設定」(27 ページ) をご覧ください。

タイムコード表示機能

SDI 信号上のタイムコード情報を画面に表示することができます。

◆ 詳しくは、「T/C (タイムコード) 画面設定」(26 ページ) をご覧ください。

カメラフォーカス機能

ユーザーコントロールメニューでの上限値以上にアパーチャーの値を上げ、画像の輪郭をはっきりさせます。カメラのフォーカスを合わせる時に便利です。フォーカスが合った部分に色をつけて表示することもでき、すばやく正確なフォーカス合わせが可能です。

スキャン切り換え / ネイティブ表示機能

ビデオ信号入力時に 0% スキャン (ノーマル)、5% オーバースキャン (オーバー) の画面サイズが選択できます。信号のピクセルをパネルのピクセルに 1:1 でマッピングするネイティブ表示機能も搭載しています。これにより、非スクエアピクセルの SD 信号 (信号システムの H ピクセル数が 720 または 1440) または HDMI ビデオの 640 × 480 の SD 信号を、H 方向は画面アスペクト比が正しくなるようにスケーリング処理しています。

外部リモート機能

シリアルリモート (Ethernet) で外部接続機器から入力選択や各種調整ができます。

Ethernet (10BASE-T/100BASE-TX) により、モニターとコントロールユニットを合わせて 32 台 (コントロールユニットは最大 4 台) 接続し、ネットワーク上でリモートコントロールができます。モニター ID No. やグループ ID No. を指定して、特定のモニターまたは特定グループのモニターだけを操作できます。また、接続しているすべてのモニターのセットアップ状態を統一したり、同時に同じ動作を実行することもできます。

◆ 詳しくは、「リモートメニュー」のシリアルリモート (33 ページ) をご覧ください。
モニターコントロールユニット BKM-15R または BKM-16R (別売) の取扱説明書もあわせてご覧ください。

クローズドキャプション

NTSC 信号のほか、SDI 信号に重畳された EIA/CEA-608、EIA/CEA-708 規格のクローズドキャプション信号を表示することができます。

IMD（インモニターディスプレイ）機能

外部リモート機能を利用して、モニターの画面上にソース名やタリー情報を表示させることができます。

◆ 詳しくは、「IMD（インモニターディスプレイ）設定」（26 ページ）をご覧ください。

イルミネーション付きコントロールパネル

暗い場所でもコントロールパネルが見やすいように、ボタンの名称を示す文字類を光らせることができます。また、周囲の明るさに合わせて、ボタンの LED の明るさを 2 段階に調節できます。

キーロック機能

各種調整キーの誤操作を防ぐため、調整キーをロックできます。

モノラルスピーカー搭載

音の再生用にスピーカーを搭載しました。

2 電源方式に対応

DC 12V のほか、専用の AC アダプターでのオペレーションが可能です。AC アダプターはモニター後面に装着できるなど、実際のシステム運用に細かく配慮した設計を施しています。

静音モード

機器内部の冷却用ファンを停止させることができます。ファンの回転音を止めたいときに便利です。

ラックマウント機能

別売のマウンティングブラケット MB-531 を使って EIA19 インチラックマウントに標準で最大 2 台搭載できます。高さ 4U で、放送中継車など限られた設置環境に、より多くの機器を搭載可能にした省スペース設計です。

キャリングハンドル

携帯用にキャリングハンドルを付属しています。

三脚用ネジ穴

セット底面に三脚用のネジ穴を設けています。また付属のアームマウントブラケットを取り付けることでセット上面でも同じネジ穴を使用可能です。

取りはずし可能なスクリーン保護板

ネジ 4 本で、画面の保護板を簡単に取り付けたり取りはずしたりできます。

モニタースタンド

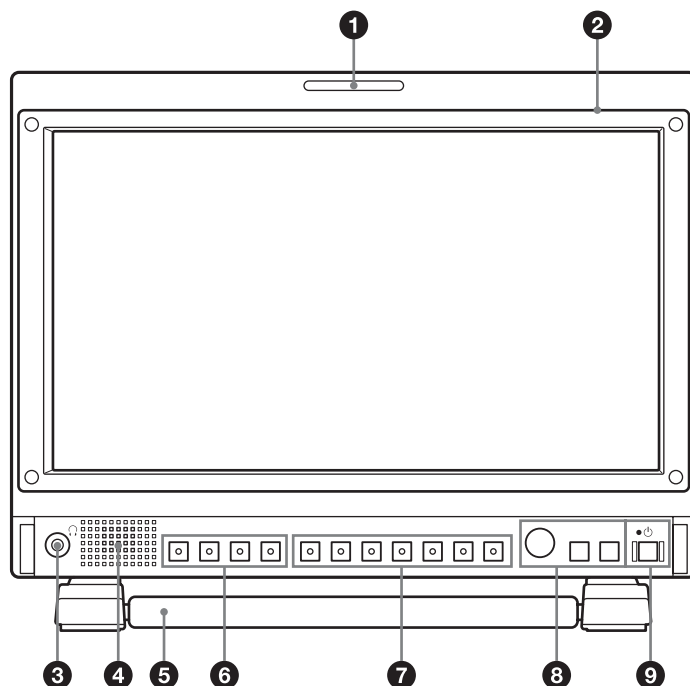
スタンドを立てるとモニター画面を 15° にして設置できます。

モニター ENG キット

屋外で使用のためには、遮光フードとコネクタープロテクターおよびキャリングハンドルの組み立てキット（モニター ENG キット VF-510、別売）をお使いください。

各部の名称と働き

前面パネル



① タリーランプ

入力画面のモニター状態を色によって表示することができます。

リモートメニューの平行リモートの設定に応じて、赤、緑、アンバーで点灯します。

② 保護板

ネジ4本をはずし、保護板を取りはずすことができます。

③ 〇（ヘッドホン）端子

入力切り換えボタンで選んだ入力信号のステレオ音声が出力されます。

④ スピーカー

入力切り換えボタンで選んだ入力信号の音声モノラル（L + R）で出力されます。

SDI 信号を入力した場合は、「ユーザー設定メニュー」のオーディオ設定で選択された音声が出力されます（32 ページ参照）。

スピーカーから出力されている音声は、後面の AUDIO OUT 端子から出力されます（14 ページ参照）。

〇端子にヘッドホンなどが接続されているときは音声が出力されません。

⑤ スタンド

手前に引き出すとモニター画面を 15° にして設置することができます。別売のモニター ENG キット VF-510 を使用するときは、スタンドを位置 B、C に取り付けてください（12 ページ「スタンドの使いかた」参照）。

⑥ 入力切り換えボタン

各端子に入力された信号をモニターするとき押します。高温環境下での使用や静音モードなどにより機器内部の温度が上昇した場合、LED が点滅します。

SDI 1 ボタン：SDI 1 入力端子からの信号をモニターするとき

SDI 2 ボタン：SDI 2 入力端子からの信号をモニターするとき

HDMI ボタン：HDMI 端子からの信号をモニターするとき

COMPOSITE ボタン：COMPOSITE IN 端子からの信号をモニターするとき

⑦ ファンクションボタン

割り当てられた機能をオン／オフすることができます。工場出荷時は次の設定になっています。

F1 ボタン：ブライト

F2 ボタン：コントラスト

F3 ボタン：クロマ

F4 ボタン：スキャン

F5 ボタン：H/V デイレイ

F6 ボタン：音量

F7 ボタン：I/P モード

「ユーザー設定メニュー」のファンクションボタン設定で各種機能を割り当てることができます。

ブライト、コントラスト、クロマ、音量、フェーズ、アパーチャーの機能が割り当てられたボタンは、一度押すと画面上に調整画面が表示されます。もう一度押すと調整画面が消え、消えた状態で画面や信号を見ながら調整できます。

◆ 割り当てられる機能について詳しくは、29 ページをご覧ください。

⑧ メニュー操作ボタン

メニュー画面の表示や設定をします。

メニュー選択つまみ

メニューが表示されているとき、つまみを回してメニュー項目および設定値を選択し、つまみを押して確定します。

メニューが表示されていないときにつまみを押すと、ボタンの名称を示す文字類が点灯し、ユーザー設定メニューのファンクションボタン設定で選択された機能が画面に表示され、一定の時間が経つと消えます。またメニューが表示されていないときにつまみを2秒以上長押しすると、信号フォーマットが画面に表示されます。

RETURN (リターン) ボタン

メニュー画面が表示されているときこのボタンを押すと、調整した項目の調整値を1つ前の状態に戻します(一部の項目を除く)。

メニューが表示されていないときにこのボタンを押すと、ユーザー設定メニューのファンクションボタン設定で選択された機能が画面に表示されます。

MENU (メニュー) ボタン

メニューを表示したり表示を消したりするときに使います。

押すとメニューが表示され、もう一度押すと消えます。

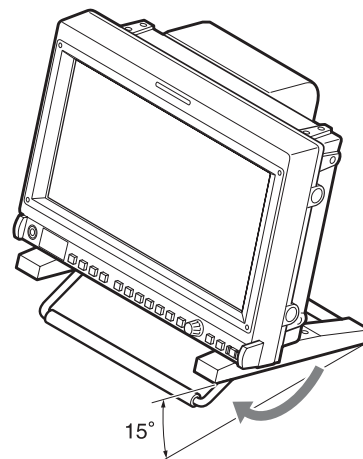
⑨ (スタンバイ) スイッチとインジケーター

本機がスタンバイ状態のとき押すと電源が入り、インジケーターが緑で点灯します。

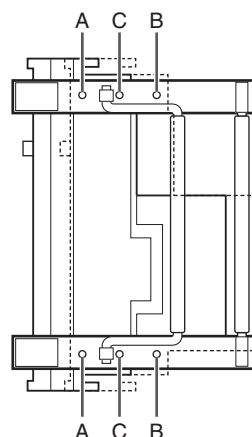
もう一度押すとスタンバイ状態になり、インジケーターが消灯します。ファンエラー時は、緑とアンバーで交互に点滅します。節電モード時はアンバーで点灯します。

スタンドの使いかた

手前に引き出すとモニター画面を15°にして設置することができます。



スタンドの取り付け位置は移動することができます。スタンド底面の取り付けネジ位置を A、C または B、C に移動します。



A、C：スタンドを後側にするときに使用します。

B、C：スタンドを前側にするときに使用します。

別売のモニター ENG キット VF-510 を使用するときは、スタンドを位置 B、C に取り付けてください。

入力信号と調整・設定項目

項目	入 力 信 号						
	ビデオ	白黒信号	SDI			HDMI	
			SD	HD	3G	SD	HD
コントラスト *1	○	○	○	○	○	○	○
ブライト *1	○	○	○	○	○	○	○
クロマ *1	○	×	○	○	○	○	○
フェーズ *1	○ (NTSC)	×	×	×	×	×	×
アバーチャー	○	○	○	○	○	○	○
色温度	○	○	○	○	○	○	○
カラースペース	○	○	○	○	○	○	○
オートクロマ / フェーズ	○	×	×	×	×	×	×
ACC	○	×	×	×	×	×	×
CTI	○	×	×	×	×	×	×
垂直シャープネス	○	○	○	×	×	○	×
NTSC セットアップレベル	○ (NTSC)	○ (480/60I)	×	×	×	×	×
スキャン	○	○	○	○	○	○	○
アスペクト	○	○	○	×	×	○	×
マーカー	○	○	○	○	○	○	○
ブルーオンリー	○	×	○	○	○	○	○
MONO	○	×	○	○	○	○	○
H/V デイレイ *6	○	○	○	○	○	×	×
シフト	○	○	○	○	○	○	○
パワーセービング	○	○	○	○	○	○	○
I/P モード *2	○	○	○	○	○	○	○
WFM/ALM/VECTOR	○	○	○ *5	○ *5	○ *5	○ *5	○ *5
カメラフォーカス	○	○	○	○	○	○	○
RGB レンジ *3	×	×	×	×	×	○	○
静音モード	○	○	○	○	○	○	○
T/C	×	×	○	○	○	×	×
IMD	○	○	○	○	○	○	○
SD ピクセル数選択	○	○	×	×	×	×	×
クローズドキャプション *4	○ *7 (NTSC)	○ *7 (480/60I)	○	○	×	×	×

○：調整・設定できる項目

×：調整・設定できない項目

*1 SUB CONTROL の設定も同様です。

*2 インターレース信号のみ可能です。

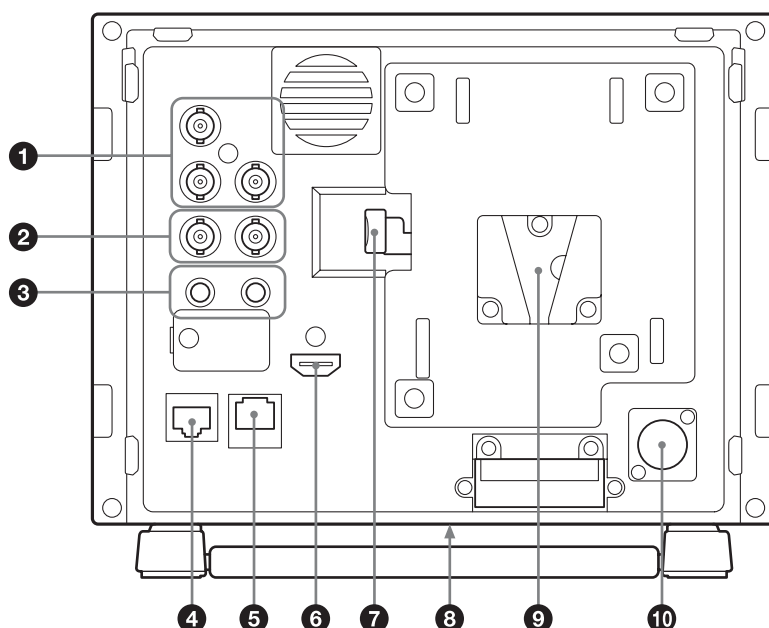
*3 HDMI 信号の RGB フォーマット入力の際に設定できます。

*4 マーカー表示が「オン」のとき、またはスキャンモードが「ネイティブ」のときは表示できません。

*5 RGB フォーマット入力の際には VECTOR は表示できません。

*6 WFM/ALM/VECTOR 表示が「オン」のときは動作しません。

*7 一部の文字が欠けたり、正しい表示位置にならない場合があります。



① SDI (3G/HD/SD) 入出力端子 (BNC 型)

① (入力) 端子、② (入力) 端子

シリアルデジタルコンポーネント信号の入力端子です。
2 系統 (SDI 1 と SDI 2) の入力に対応します。

OUT 端子

シリアルデジタルコンポーネント信号の出力端子です。

ご注意

- OUT 端子からの出力信号は、本線系としての規格を満たしていません。
- OUT 出力は、電源が入っているときに出力されます。スタンバイ状態では出力されません。

② COMPOSITE (コンポジット) 入出力端子 (BNC 型)

IN 端子

コンポジットビデオ信号の入力端子です。

OUT 端子

ループスルー出力端子です。

ご注意

本機ヘジッターなどがあるビデオ信号を入力すると、画像が乱れることがあります。その場合は、TBC (タイムベースコレクター) の使用をおすすめします。

③ AUDIO (音声) 入出力端子 (ステレオミニジャック)

IN 端子

VTR などの外部機器の音声出力端子と接続します。

OUT 端子

前面の入力切り換えボタンで選んだ信号の音声信号が出力されます。

SDI 信号を選んだ場合は「ユーザー設定メニュー」のオーディオ設定で選択されたチャンネルの音声か AUDIO IN 端子に入力された音声を選択して出力できます。

④ PARALLEL REMOTE (パラレルリモート) 端子 (モジュラーコネクタ、8 ピン)

パラレルコントロールスイッチを構成してモニターを外部操作します。

◆ ピン配置と出荷時の各ピンへの機能の割り付けについて詳しくは、36 ページをご覧ください。

ご注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクタをこの端子に接続しないでください。

接続については本書の指示に従ってください。

⑤ SERIAL REMOTE (シリアルリモート) 端子 (RJ-45 型)

10BASE-T/100BASE-TX の LAN ケーブル (シールドタイプ、別売) でネットワークの LAN (10/100) 端子またはソニーモニターコントロールユニット BKM-15R/16R に接続します。

◆ 詳しくは「プログラマー用インターフェース解説書」（付属の CD-ROM に収録、日本語と英語のみ）をご覧ください。

ご注意

- 安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクタをこの端子に接続しないでください。
接続については本書の指示に従ってください。
- LAN ケーブルご使用の際は、輻射ノイズによる誤動作を防ぐため、シールドタイプのケーブルを使用してください。
- ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。本機は 10BASE-T/100BASE-TX の通信速度や通信品質を保証するものではありません。

⑥ HDMI 入力端子

HDMI 信号を入力します。

HDMI 信号（High-Definition Multimedia Interface）とは、デジタル機器間で映像／音声信号をデジタルのまま 1 本のケーブルで送ることができるインターフェースです。高品質な映像が表示できます。デジタル画像信号の暗号化記述を使用した著作権保護技術である HDCP にも対応しています。

ご注意

HDMI ケーブル（別売）は、HDMI ロゴを取得したケーブルをご使用ください。

⑦ EJECT ボタン

このボタンを押しながら AC アダプターを取りはずします。

⑧ 三脚取り付け用ネジ穴（1/4-20UNC、3/8-16UNC）

三脚を使用するとき、このネジ穴を使って固定します。

⑨ AC アダプター取り付け部

AC アダプター AC-941W を取り付けることにより、AC 電源で動作させることができます。

⚠ 注意

安全のため、下記ソニー純正以外の AC アダプターを使用しないでください。

- AC アダプター：AC-941W

⑩ ㏻（DC IN）端子

外部電源 DC 12V を接続することにより、本機を動作させることができます。

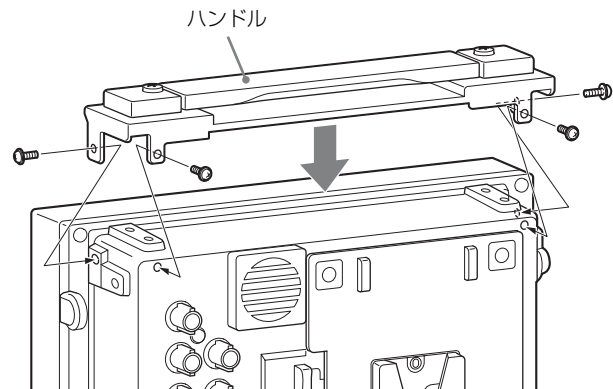
⚠ 注意

必ず指定の電圧値の電源を接続してください。

ハンドルの取り付け

持ち運びのために付属のハンドルを取り付けることができます。

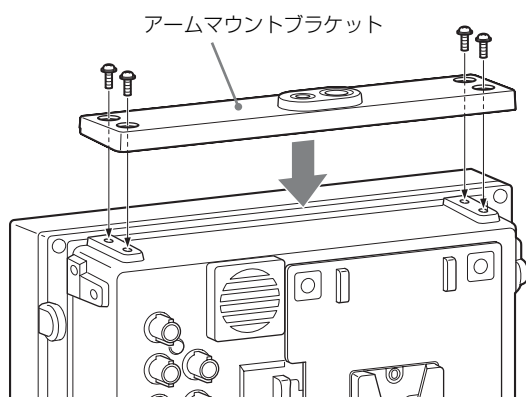
付属のネジ 4 本でハンドルをモニターに固定します。



アームマウントブラケットの取り付け

付属のアームマウントブラケットを取り付けることができます。

付属のネジ4本でアームマウントブラケットをモニターに固定します。



ラックへの取り付け (MB-531 を使用)

別売のマウンティングブラケット MB-531 を使用して、本機を最大で2台ラックに取り付けることができます。

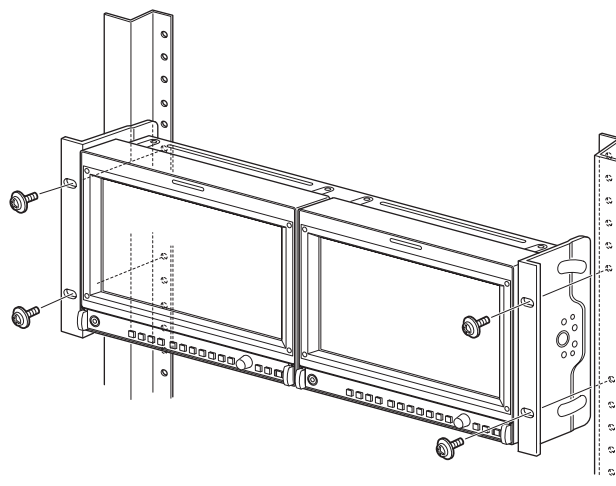
1 マウンティングブラケットを取り付ける。

◆ 取り付けかたについて詳しくは、マウンティングブラケットの取付説明書をご覧ください。

2 ネジ4本でラックに取り付ける。

ご注意

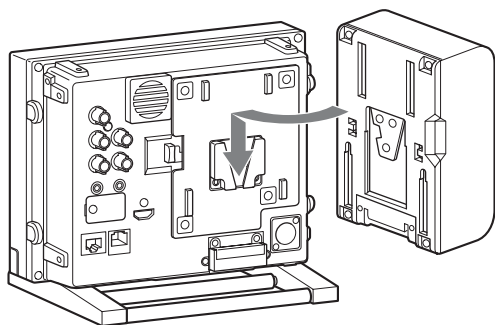
ネジは付属されていません。ラックに応じたネジをご用意ください。



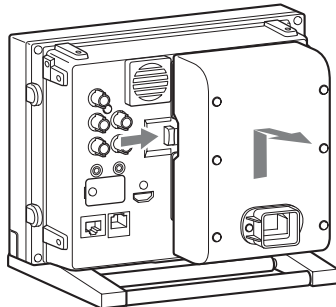
電源の供給

AC アダプターを取り付ける

取り付け



取りはずし

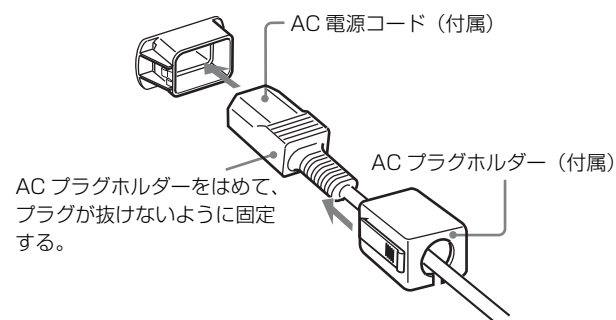


⚠ 注意

- AC アダプターは指定以外の製品には使用できません。
- AC アダプターを取りはずすときは、必ず先に電源コードをはずしてから行ってください。
- モニターを持ち運ぶときは、AC アダプターを持たないでください。

AC 電源コードを接続する

AC アダプターをモニターに取り付けてから付属の電源コードを接続します。



⚠ 注意

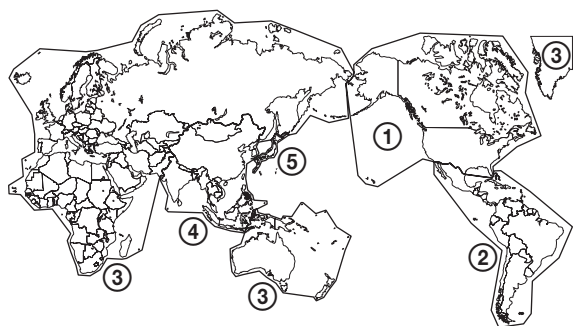
アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。
アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

基本設定の選択

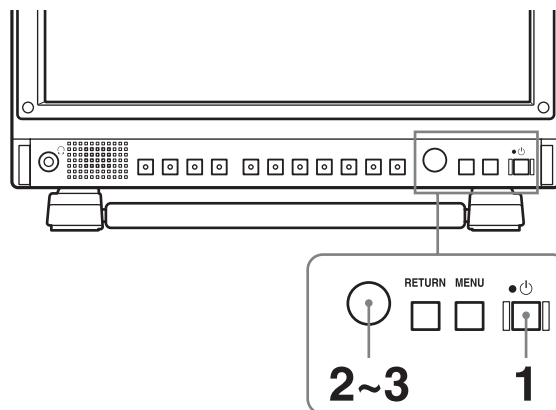
はじめてお使いになるときはお使いになる地域の選択を行ってください。

地域を選択すると、メニュー内の各項目がお使いの地域に合った値に設定されます。

地域別基本設定値

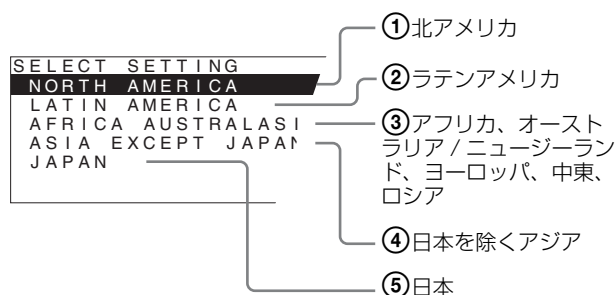


		色温度	NTSC セット アップ	カラー ベース
① NORTH AMERICA		D65	7.5	ITU-709
② LATIN AMERICA	ARGENTINA	D65	0	ITU-709
	PARAGUAY	D65	0	ITU-709
	URUGUAY	D65	0	ITU-709
NTSC&PAL-M AREA	OTHER AREA	D65	7.5	ITU-709
③ AFRICA AUSTRALASIA EUROPE MIDDLE-EAST		D65	0	ITU-709
④ ASIA EXCEPT JAPAN	NTSC AREA	D65	7.5	ITU-709
	PAL AREA	D65	0	ITU-709
⑤ JAPAN		D93	0	ITU-709



1 電源（スタンバイ）スイッチを押す。

本機の電源が入り、SELECT SETTING 画面が表示されます。



2 メニュー選択つまみを回して、本機をお使いになる地域を選び、メニュー選択つまみを押す。

①、③、⑤ が選ばれたとき

確認画面が表示されます。地域が正しいことを確認してください。

間違っている場合は、RETURN ボタンを押してひとつ前の画面に戻り設定し直してください。

SELECT THIS AREA?
 NORTH AMERICA
 [ENTER]YES
 [RETURN]NO

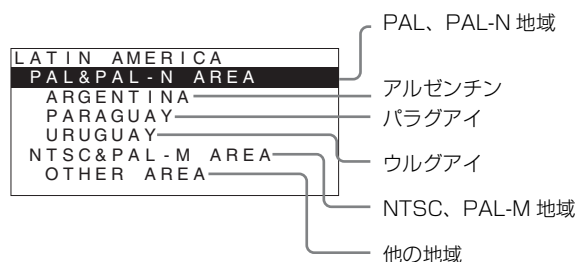
②、④ が選ばれたとき

次の画面が表示されますのでメニュー選択つまみで再度地域を選んでメニュー選択つまみを押してください。

確認画面が表示されます。地域が正しいことを確認してください。

間違っている場合は、RETURN ボタンを押してひとつ前の画面に戻り設定し直してください。

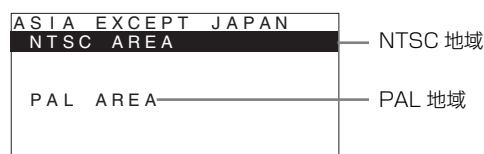
② LATIN AMERICA が選ばれたとき：



④ ASIA EXCEPT JAPAN が選ばれたとき：

下の地図でグレーに色付けされた地域でお使いの場合は、NTSC AREA を選んでください。

他の地域でお使いの場合は、PAL AREA を選んでください。



3 メニュー選択つまみを押す。

SELECT SETTING 画面が消えて、自動的にメニュー内の各項目が、選択した地域に合った値に設定されます。

ご注意

地域を間違えて設定した場合は、メニューを使い以下の項目を変更してください。

- 色温度 (23 ページ)
- NTSC セットアップ (24 ページ)
- カラースペース (23 ページ)

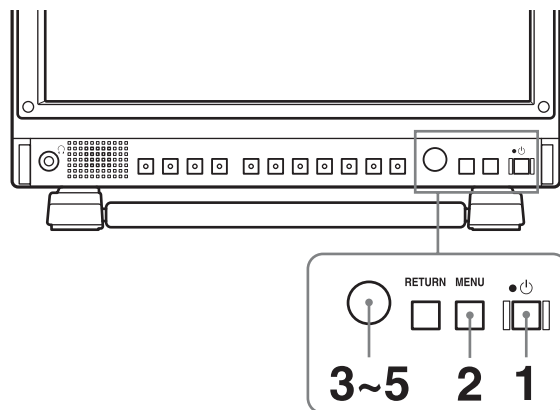
設定値については「地域別基本設定値」(18 ページ)をご覧ください。

メニュー表示言語の切り換え

メニュー画面やメッセージの表示言語を 7 言語 (ENGLISH、FRANÇAIS、DEUTSCH、ESPAÑOL、ITALIANO、日本語、中文) の中から選ぶことができます。

メニューの言語は「ENGLISH (英語)」に初期設定されています。

メニュー画面のイラスト上の ■ マーク部分に現在の設定値が表示されます。

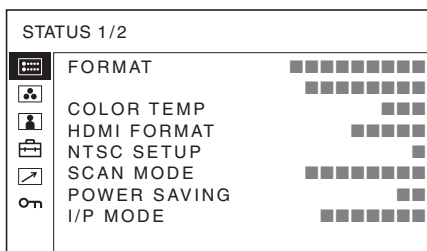


1 電源を入れる。

2 MENU ボタンを押す。

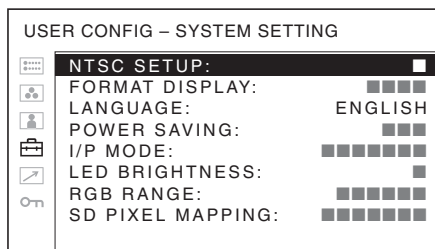
メニュー画面が表示されます。

現在選択されているメニューが黄色で表示されます。



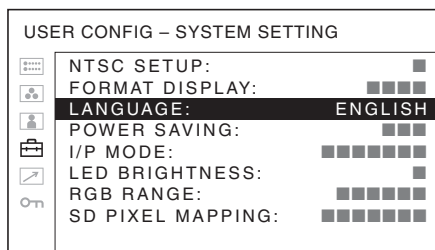
- 3 メニュー選択つまみを回して USER CONFIG（ユーザー設定）メニューの SYSTEM SETTING（システム設定）を選び、メニュー選択つまみを押す。

選んだメニューの設定項目（アイコン）が黄色で表示されます。



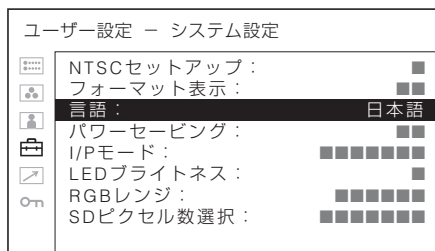
- 4 メニュー選択つまみを回して「LANGUAGE」を選び、メニュー選択つまみを押す。

選んだ項目が黄色で表示されます。



- 5 メニュー選択つまみを回して表示させたい言語を選び、メニュー選択つまみを押す。

画面表示が選んだ言語に切り換わります。



メニュー画面を消すには

MENU ボタンを押します。

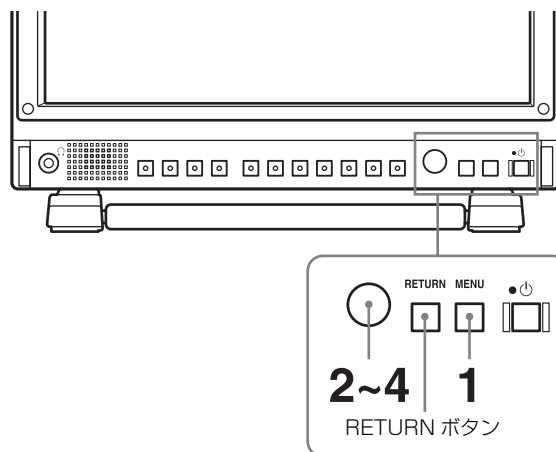
約 1 分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

メニューの操作方法

本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。メニュー画面表示の言語を切り換えることもできます。

- ◆ 表示言語を変えるには、「メニュー表示言語の切り換え」（19 ページ）をご覧ください。

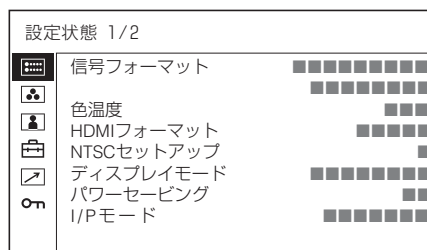
メニュー画面のイラスト上の ■ マーク部分に現在の設定値が表示されます。



- 1 MENU ボタンを押す。

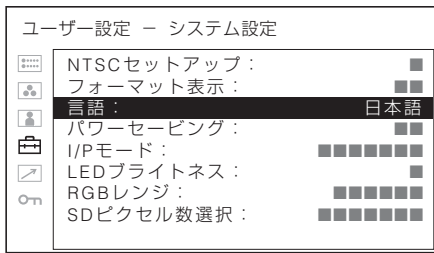
メニュー選択画面が表示されます。

現在選択されているメニューが黄色で表示されます。



- 2 メニュー選択つまみを回してメニューを選び、メニュー選択つまみを押す。

選んだメニューのアイコンが黄色で表示され、設定項目が表示されます。



設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

3 項目を選ぶ。

メニュー選択つまみを回して設定項目を選び、メニュー選択つまみを押します。
変更する項目が黄色で表示されます。
項目が複数メニューページにおよぶ場合、メニュー選択つまみを回して必要なメニューページに入ります。

4 設定項目の調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合：

数値を大きくするときは、メニュー選択つまみを右に回します。
数値を小さくするときは、メニュー選択つまみを左に回します。
メニュー選択つまみを押すと確定され、元の画面に戻ります。

設定を選ぶ場合：

メニュー選択つまみを回して設定を選び、メニュー選択つまみを押します。

調整や設定値を元に戻す場合：

メニュー選択つまみを押す前に、RETURN ボタンを押します。

ご注意

- 設定項目で黒色表示の項目はアクセスできない状態を意味します。白色表示に変わるとアクセスが可能になります。
- キーロックがオンに設定されている場合、すべての設定項目が黒色表示になります。設定変更が必要な場合は、キーロックをオフに設定し直してから行ってください。

◆ キーロックについて詳しくは、33 ページをご覧ください。

画面を 1 つ前に戻すには

RETURN ボタンを押します。

メニュー画面を消すには

MENU ボタンを押します。

約 1 分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

メニューを使った調整

項目一覧

本機のスクリーンメニューは次のような構成になっています。

設定状態（表示のみ）

- 信号フォーマット
- 色温度
- HDMI フォーマット
- NTSC セットアップ
- ディスプレイモード
- パワーセービング
- I/P モード
- 機種名およびシリアルナンバー

ホワイトバランス / カラースペース

- 色温度
- マニュアル調整
- カラースペース

ユーザーコントロール

- サブコントロール
- オートクロマ／フェーズ
- ピクチャーコントロール
- 入力設定

ユーザー設定

- システム設定
 - NTSC セットアップ
 - フォーマット表示
 - 言語
 - パワーセービング
 - I/P モード
 - LED ブライトネス
 - RGB レンジ
 - SD ピクセル数選択
- マーカー設定
 - マーカー表示
 - マーカー選択
 - センターマーカー
 - セーフエリア
 - マーカーレベル
 - マーカーマット
- T/C 画面設定
 - T/C

- フォーマット
- 画面位置
- 画像透過度
- IMD 設定
 - IMD
 - 画面位置
 - 画像透過度
 - テキストカラー
 - テキストブライトネス
 - タリー 1
 - タリー 2

- WFM/ALM/VECTOR（ウェーブフォームモニター／オーディオレベルメーター／ベクトルスコープ）設定

- 表示選択
 - WFM/ALM/VECTOR
 - 画面位置
 - 画像透過度
 - カラー
 - 表示輝度
 - ズーム
 - ライン選択
 - ライン位置
 - ターゲット

- カメラフォーカス設定
 - カメラフォーカスモード
 - カラー
 - 周波数設定
 - レンジ
 - ゲイン

- ファンクションボタン設定
 - F1 ボタン
 - F2 ボタン
 - F3 ボタン
 - F4 ボタン
 - F5 ボタン
 - F6 ボタン
 - F7 ボタン
- クローズドキャプション設定
 - キャプション表示
 - タイプ
 - 708
 - 608
 - キャプションレベル
- オーディオ設定
 - SDI オーディオ設定

リモート

- パラレルリモート
- シリアルリモート

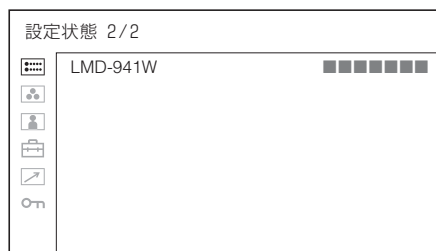
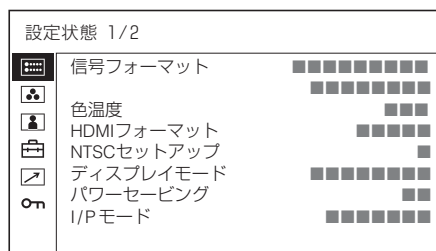
キーロック

キーロック

調整と設定

設定状態メニュー

本機の現在の設定状況を表示します。表示される項目は以下のとおりです。



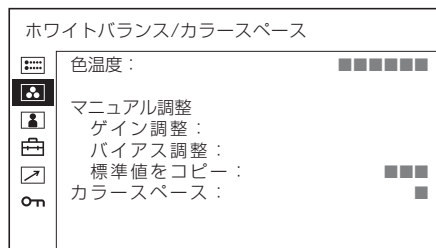
- 信号フォーマット
- 色温度
- HDMI フォーマット
- NTSC セットアップ
- ディスプレイモード
- パワーセービング
- I/P モード
- 機種名およびシリアルナンバー

ホワイトバランス / カラースペースメニュー

画質のホワイトバランス / カラースペースを調整するメニューです。

ホワイトバランスの調整には測定器が必要です。

推奨品：コニカミノルタ社製カラーアナライザー CA-210/CA-310



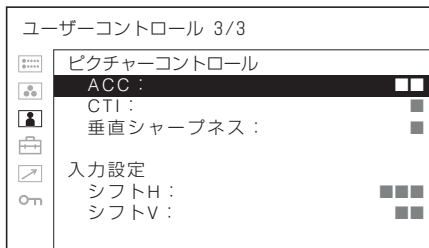
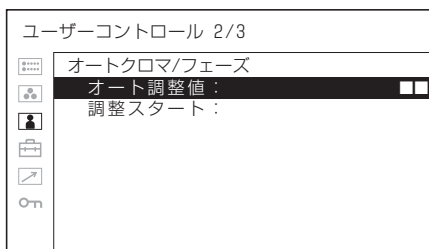
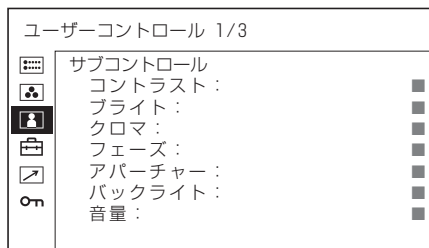
サブメニュー	設定
色温度	色温度を「D65」、「D93」、「ユーザー設定」から設定します。
マニュアル調整	色温度を「ユーザー設定」にしたとき、表示が黒色から白色に変わり、調整できるようになります。 調整値はメモリーされます。 <ul style="list-style-type: none">• ゲイン調整：カラーバランス（ゲイン）を調整します。• バイアス調整：カラーバランス（バイアス）を調整します。• 標準値をコピー：「D65」または「D93」を選択すると、選択された色温度のホワイトバランスデータが、「ユーザー設定」にコピーされます。
カラースペース	色域を「EBU」、「SMPTE-C」、「ITU-709」、「オフ」から設定します。「オフ」に設定するとパネル本来の色を再現します。

ユーザーコントロールメニュー

画質を調整するメニューです。

入力信号によって調整できない項目は黒色で表示されます。

◆入力信号と調整・設定項目については、13 ページをご覧ください。

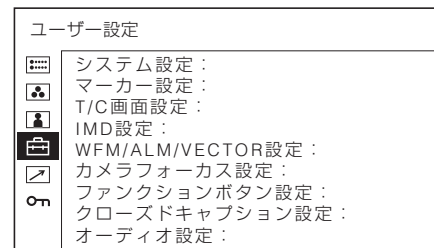


サブメニュー	設定
サブコントロール	<p>コントラスト、ブライト、クロマ、フェーズは、機能を割り付けたファンクションボタンの調整範囲を微調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コントラスト：コントラストを調整します。 • ブライト：明るさを調整します。 • クロマ：色の濃さを調整します。設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。 • フェーズ：色相（色あい）を調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。 • アパーチャー：シャープネスを調整します。設定値が大きくなるとくっきりし、小さくなると柔らかくなります。カメラフォーカスがオンのとき、アパーチャーは機能しません。 • バックライト：バックライトを調整します。設定値を変えるとバックライトの明るさが変わります。 • 音量：音量を調整します。
オートクロマ／フェーズ	<p>色の濃さ（クロマ）と色あい（フェーズ）を調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オート調整値：自動調整値のオン、オフを設定します。「オフ」に設定するとクロマとフェーズの値が工場出荷値となり、「オン」に設定すると自動調整値になります。 • 調整スタート：カラーバー信号（フル／SMPTE/EIA）を画面に出して、メニュー選択つまみを押すと、自動的にオート調整画面が始まります。調整終了後、MENU ボタンを押すと調整画面が消えます。調整が正常終了した場合、「オート調整値」は自動的に「オン」になります。
ピクチャーコントロール	<p>画像を調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ACC（オートカラーコントロール）：オートカラーコントロール回路のオン、オフを設定します。より正確なクロマレベルを確認したいとき「オフ」にします。通常は「オン」にしておきます。 • CTI（クロマトランジェントインブルーメント）：色の解像度の低い信号を入力時、くっきりした画像を出すことができます。設定値が大きくなるとくっきりします。 • 垂直シャープネス：垂直方向にシャープネスを付加してくっきりした画像を出すことができます。設定値が大きくなるとくっきりします。

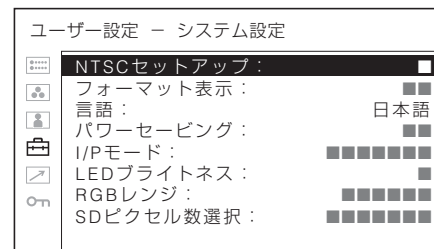
サブメニュー	設定
入力設定	<ul style="list-style-type: none"> • シフトH：画像の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。 • シフトV：画像の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。

🗑 ユーザー設定メニュー

システム設定、マーカー設定、T/C 画面設定、WFM/ALM/VECTOR 設定、カメラフォーカス設定、ファンクションボタン設定、クローズドキャプション設定、オーディオ設定を行います。



システム設定

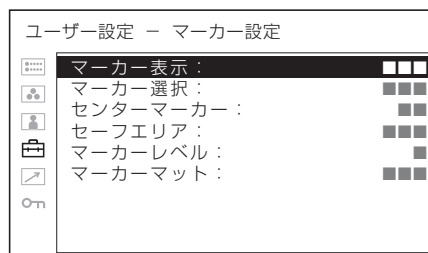


サブメニュー	設定
NTSC セットアップ	NTSC 信号のセットアップのレベルを選択します。日本は0で、アメリカでは7.5で運用されています。このため輸入ソフトには7.5のものががあります。
フォーマット表示	<p>フォーマット表示とスキャンモードが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オン：常に表示されます。 • オフ：表示されません。 • オート：信号入力開始後約5秒間だけ表示されます。

サブメニュー	設定
言語	<p>メニュー表示やメッセージの表示言語を以下の7言語から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ENGLISH : 英語 • FRANÇAIS : フランス語 • DEUTSCH : ドイツ語 • ESPAÑOL : スペイン語 • ITALIANO : イタリア語 • 日本語 : 日本語 • 中文 : 中国語
パワーセービング	<p>節電モードのオン、オフを設定します。「オン」に設定すると、本体に信号が入力されない状態が約1分以上続くと節電モードになります。</p>
I/P モード (映像遅延最小)	<p>インターレース信号を入力したとき、機器内部の画像処理による遅延を最小にしたいとき設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • インタフィールド * : 画質優先のモードです。フィールド間での映像の動きを考慮し、補間を行います。処理時間は他のモードに設定したときより長くなります。 • フィールドマージ : 処理時間が短くなります。動きを考慮せず、奇数フィールドと偶数フィールドのラインをそのまま交互に組み合わせます。静止画を確認する場合に適しています。 • ラインダブラー : 処理時間が短くなります。フィールドに関係なく、データの到着順にラインを2回ずつ引く補間を行います。ラインフリッカーが見えるので、テロップ制作などのラインフリッカーチェック用途にもご使用いただけます。 • インフィールド : 1920 × 1080 の SDI 信号入力時のみ選択できます。自然な動画が得られ、かつ処理時間の短いモードです。フィールド内でライン補間を行います。1920 × 1080 の SDI 信号の入力時に適しています。 <p>* WFM/ALM/VECTOR 設定の表示選択がオンのときには選択できません。</p>
LED ブライトネス	<p>ボタンの LED の明るさを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高 : LED が明るくなります。 • 低 : LED が暗くなります。
RGB レンジ	<p>HDMI 信号の RGB フォーマットのときの黒レベルと白レベルの値を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • FULL : 0 (黒レベル) ~ 255 (白レベル) • LIMITED : 16 (黒レベル) ~ 235 (白レベル)

サブメニュー	設定
SD ピクセル数選択	<p>COMPOSITE IN 端子からの入力信号に応じて SD 画像のサイズ (ピクセル数) を選択します。</p> <p>画像サイズが 720 × 487 (60i) (または 720 × 576 (50i)) の信号を入力するとき 「720 × 487」(または「720 × 576」) に設定します。標準設定です。 「712 × 483」(または「702 × 576」) に設定すると、画像の縁が数ピクセル分欠けた状態で表示されます。</p> <p>画像サイズが 712 × 483 (60i) (または 702 × 576 (50i)) 相当の信号を入力するとき 「712 × 483」(または「702 × 576」) に設定します。 「720 × 487」(または「720 × 576」) に設定すると、周囲に数ピクセル分の黒枠が付いた画像として表示されます。</p>

マーカー設定



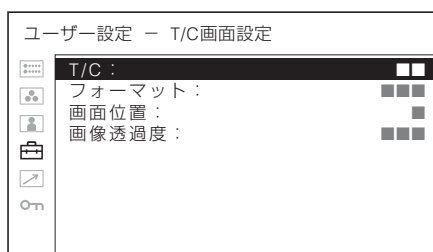
サブメニュー	設定
マーカー表示	<p>マーカーを表示するとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。</p>
マーカー選択	<p>フィルムのフレーム枠を画面に表示させるとき、フィルムに合わせてアスペクト比を選択できます。</p> <p>アスペクト機能を割り当てたボタンで 16:9 が選ばれているとき 4:3、15:9、14:9、13:9、1.85:1、2.35:1、1.85:1 & 4:3、オフから選択します。</p> <p>アスペクト機能を割り当てたボタンで 4:3 が選ばれているとき 16:9 または オフ を選択します。</p>

ご注意

スキャン設定で「ネイティブ」を選択している場合、マーカーを表示できません。マーカーを表示したい場合は「ネイティブ」以外を選択してください。

サブメニュー	設定
センターマーカ	画像のセンターを表すマーカを表示するとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。
セーフエリア	アスペクト機能を割り当てたボタンで設定したアスペクト比に対するセーフエリアサイズを選択できます。オフ、80%、85%、88%、90%、93% から選択します。 マーカが表示されているときはマーカに対するセーフエリアを表示します。
マーカレベル	「マーカ選択」と「センターマーカ」、「セーフエリア」表示の輝度を設定します。1 から 3 に設定することができます。設定値が小さくなると暗くなります。
マーカマツ	マーカ表示の外側の部分の画像にマツをかけるかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ オフ：マツの設定をしません。 ・ ハーフ：画像が暗くなるマツをかけます。 ・ ブラック：黒いマツをかけます。

T/C（タイムコード）画面設定



サブメニュー	設定
T/C	タイムコード画面を表示するとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。
フォーマット	タイムコードのフォーマットを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ VITC：VITC フォーマットで表示するとき選択します。 ・ LTC：LTC フォーマットで表示するとき選択します。
画面位置	タイムコードの表示位置を設定します。1 または 2 を選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1：上 ・ 2：下
画像透過度	T/C 画面表示の背景をブラックとハーフ（透過）から選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ブラック：背景が黒色になります。表示していた画像は背景の後ろに隠れます。 ・ ハーフ：背景が透けます。表示していた画像は T/C 画面の後ろに透けて表示されます。

IMD（インモニターディスプレイ）設定

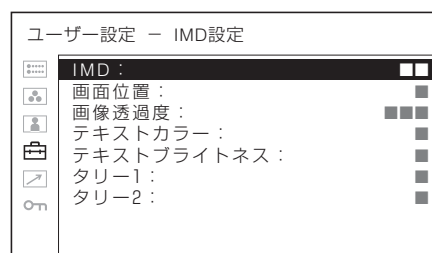
本機は Television Systems Ltd 社の「TSL UMD Protocol - V5.00」に対応しています。

メニューで設定できる項目は、タリー 1 とタリー 2 の表示色、テキストの色と輝度です。



ご注意

- ・ 本機で IMD 表示するとき、TSL プロトコルの設定で、「SCREEN」と「INDEX」を「0x0000」にしてください。
- ・ 本機で表示できる文字は、アルファベット（英語）、数字、記号、ひらがな、カタカナです。ただし、一部表示できない記号があります。
- ・ 本機で表示できる最大文字数は、英数字記号および濁点／半濁点なしのひらがなとカタカナで 16 文字です。濁点／半濁点は、1 文字にカウントされます。



サブメニュー	設定
IMD	IMD 表示をするとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。
画面位置	IMD の表示位置を設定します。1 または 2 を選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1：上 ・ 2：下
画像透過度	IMD 表示の背景を、ブラックとハーフ（透過）から選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ブラック：背景が黒色になります。表示していた画像は背景の後ろに隠れます。 ・ ハーフ：背景が透けます。表示していた画像は IMD 表示の後ろに透けて表示されます。

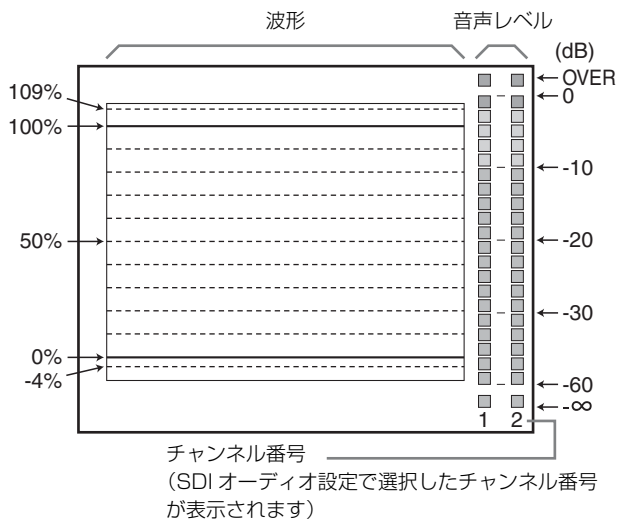
サブメニュー	設定
テキストカラー	<p>IMD 表示する文字色の設定をします。 0 (コマンド指示色) を選択すると、TSL コマンドで指定した設定になります。0 以外を選択すると、コマンド指定に関係なく、設定した色で文字が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0: コマンド指示色 1: 白色 2: 赤色 3: 緑色 4: 青色 5: 黄色 6: シアン色 7: マゼンダ色 8: アンバー色
テキストブライトネス	<p>IMD 表示する文字の輝度を設定します。 0 (コマンド指示輝度) を選択すると、TSL コマンドで指定した設定になります。0 以外を選択すると、コマンド指定に関係なく、設定した輝度で文字が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0: コマンド指示輝度 1: 100% 2: 50% 3: 14%
タリー 1	<p>IMD 表示でのタリー 1 の色設定をします。 0 (コマンド指示色) を選択すると、TSL コマンドで指定した設定になります。0 以外を選択すると、コマンド指定に関係なく、設定した色で文字が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0: コマンド指示色 1: 白色 2: 赤色 3: 緑色 4: 青色 5: 黄色 6: シアン色 7: マゼンダ色 8: アンバー色
タリー 2	<p>IMD 表示でのタリー 2 の色設定をします。 0 (コマンド指示色) を選択すると、TSL コマンドで指定した設定になります。0 以外を選択すると、コマンド指定に関係なく、設定した色で文字が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0: コマンド指示色 1: 白色 2: 赤色 3: 緑色 4: 青色 5: 黄色 6: シアン色 7: マゼンダ色 8: アンバー色

WFM/ALM/VECTOR (ウェーブフォームモニター／オーディオレベルメーター／ベクトルスコープ) 設定

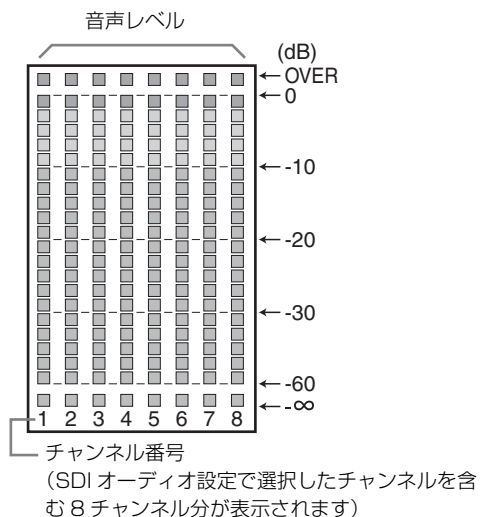


サブメニュー	設定
表示選択	<p>WFM (ウェーブフォームモニター)、ALM (オーディオレベルメーター)、または VECTOR (ベクトルスコープ) を表示するときに「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。</p>
WFM/ALM/VECTOR	<ul style="list-style-type: none"> • WFM: 波形モニターを表示します。 • ALM: オーディオレベルメーターを表示します。 • VECTOR: ベクトルスコープを表示します。 <p>WFM を選択すると、波形と音声レベルが表示されます。ALM を選択すると、音声レベルが 8 チャンネル分表示されます。VECTOR を選択すると映像信号の色差成分と音声レベルが表示されます。SDI 入力時、音声レベルは SDI オーディオ設定で選択したチャンネルが表示されます。</p> <p>各選択画面の表示は下図のようになります (実際には波形図のパーセンテージ、音声レベルの単位・数値は画面には表示されません)。</p>

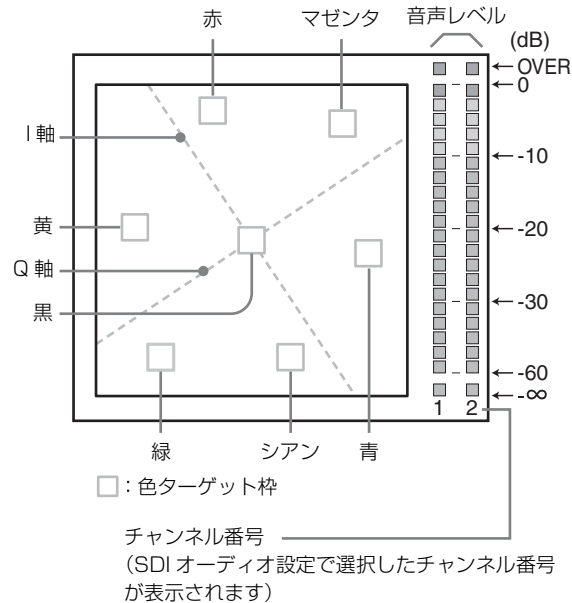
WFM を選択したとき



ALM を選択したとき



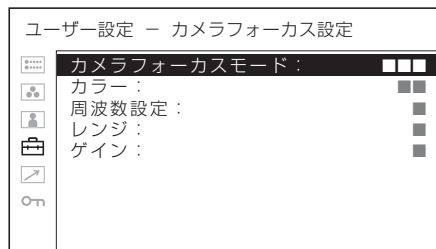
VECTOR を選択したとき



画面位置	WFM/ALM/ ベクトルスコープ画面の表示位置を設定します。1 から 4 の中から選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 1: 左下 • 2: 右下 • 3: 右上 • 4: 左上
画像透過度	WFM/ALM/ ベクトルスコープ画面表示の背景を、ブラックとハーフ（透過）から選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • ブラック: 背景が黒色になります。表示していた画像は背景の後ろに隠れます。 • ハーフ: 背景が透けます。表示していた画像は WFM/ALM/ ベクトルスコープ画面の後ろに透けて表示されます。
カラー	WFM 選択時に、ラインの表示色を白 (W)、赤 (R)、緑 (G)、青 (B)、黄 (YL) から選択します。
表示輝度	波形などの明るさを設定します。数値を大きくすると明るくなります。
ズーム	WFM 選択時に「オン」にすると 0 ～ 20 IRE 部分を拡大表示します。VECTOR 選択時に「オン」にすると黒部分を拡大表示します。
ライン選択	WFM 選択時に、下記のライン位置で指定したラインの波形を表示する場合にオンを選択します。
ライン位置	WFM 選択時に、ラインの位置を設定します。数値を大きくすると下方向に、小さくすると上方向に移動します。

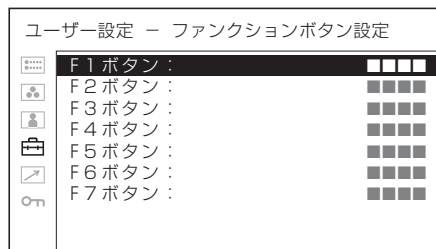
サブメニュー	設定
ターゲット	75 と 100 から選択します。設定を変更することでベクトルスコープのターゲットを 75% と 100% に切り換えます。

カメラフォーカス設定



サブメニュー	設定
カメラフォーカスモード	フォーカスモードを切り換えます。 <ul style="list-style-type: none"> 標準：輪郭が強調された画像になります。 カラー：強調部分がカラー設定で選択された色になります。 オフ：カメラフォーカスモードをオフにします。
カラー	強調表示色を設定します。白 (W)、赤 (R)、緑 (G)、青 (B)、黄 (YL) から選択します。
周波数設定	輪郭強調信号の中心周波数を設定します。L、M、MH、H から選択します。
レンジ	輪郭強調のレベルの可変量を設定します。1 ～ 3 から選択します。
ゲイン	輪郭強調のレベルを設定します。0 ～ 100 の間で設定します。

ファンクションボタン設定



サブメニュー	設定
F1 ボタンから F7 ボタン	前面パネルの F1 ボタンから F7 ボタンに機能を割り当て、機能をオン / オフすることができます。 <p>スキャン、アスペクト、ブルーオンリー、MONO、マーカ、I/P モードなどを割り当てることができます。</p> <p>工場出荷時の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> F1 ボタン：ブライト F2 ボタン：コントラスト F3 ボタン：クロマ F4 ボタン：スキャン F5 ボタン：H/V ディレイ F6 ボタン：音量 F7 ボタン：I/P モード

ファンクションボタンに割り当てられる機能について

スキャン

画像のスキャンサイズを変えたいときボタンを押します。押すたびにノーマルスキャン→オーバースキャン→ネイティブに切り換わります (31 ページ「スキャンモードイメージ」参照)。

アスペクト

画面のアスペクト (縦横比) を変えたいときボタンを押して 4:3 または 16:9 を選びます。

ブルーオンリー

赤と緑の信号をカットし、青信号のみを白黒画像として表示したいときボタンを押します。色の濃さ (クロマ) や色相 (フェーズ) の調整、信号のノイズの監視が容易に行えます。

MONO (白黒)

画面を白黒にしたいときボタンを押します。もう一度押すとカラーに戻ります。

マーカ

マーカを表示したいときボタンを押します。アスペクトマーカの設定はマーカ設定メニューで行います (25 ページ)。

H/V (水平 / 垂直) ディレイ

水平、垂直同期信号をモニターしたいときボタンを押します。

CLOSED CAP. (クローズドキャプション)

字幕表示をしたいときボタンを押します。字幕の設定はクローズドキャプション設定メニューで行います (31 ページ)。

WFM/ALM/VS (WFM/ALM/VECTOR)

WFM/ALM/ ベクトルスコープ画面表示をしたいときボタンを押します。WFM/ALM/ ベクトルスコープ画面の設定は WFM/ALM/VECTOR 設定メニューで行います (27 ページ)。

WFM 選択時、ライン選択がオンに設定されている場合には押すたびに WFM 画面表示→ライン位置設定→WFM 画面非表示に切り換わります。ライン位置設定のときにはメニュー選択つまみでラインを移動させることができます。

ライン選択がオフに設定されている場合には WFM 画面の表示、非表示が切り換わります。

ズーム

WFM/ALM/ ベクトルスコープ画面をズーム表示したいときボタンを押します。

WFM/ALM/ ベクトルスコープ画面のズーム設定は WFM/ALM/VECTOR 設定メニューで行います (28 ページ)。

ブライト

明るさを調整したいときボタンを押します。ボタンを押すと調整画面が表示され、明るさを調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すと明るくなり、左に回すと暗くなります。

コントラスト

コントラストを調整したいときボタンを押します。ボタンを押すと調整画面が表示され、コントラストを調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すとコントラストが強くなり、左に回すと弱くなります。

クロマ

色の濃さを調整したいときボタンを押します。ボタンを押すと調整画面が表示され、色の濃さを調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すと色が濃くなり、左に回すと薄くなります。

音量

音声のボリュームを調整したいときボタンを押します。ボタンを押すと調整画面が表示され、音量を調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態

でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すと音が大きくなり、左に回すと小さくなります。

I/P モード

インターレース信号を入力時、機器内部の画像処理による遅延を最小にしたいときボタンを押します。押すたびにインタフィールド→フィールドマージ→ラインダブラー→インフィールドに切り換わります (25 ページ「I/P モード」参照)。

フェーズ

色相 (色あい) を調整したいときボタンを押します。ボタンを押すと調整画面が表示され、色相を調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すと緑がかり、左に回すと紫がかります。

アパーチャー

シャープネスを調整したいときボタンを押します。ボタンを押すと調整画面が表示され、シャープネスを調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すとくっきりとし、左に回すとやわらかくなります。

フォーカス

カメラのフォーカスを確認したいときボタンを押します。輪郭が強調された画像が表示されます。

T/C

タイムコード画面を表示したいときボタンを押します。T/C 画面の設定は T/C 画面設定で行います (26 ページ)。

IMD

IMD を表示したいときボタンを押します。IMD 表示の設定は IMD 設定で行います (26 ページ)。

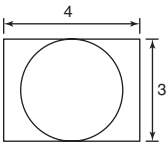
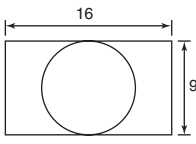
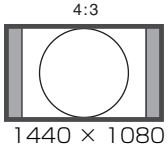
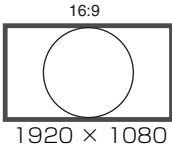
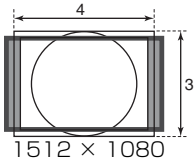
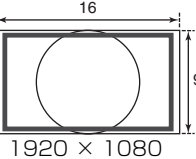
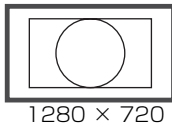
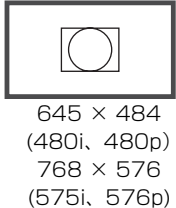
静音モード

内部冷却用ファンを停止しておきたいときにボタンを押します。

ご注意

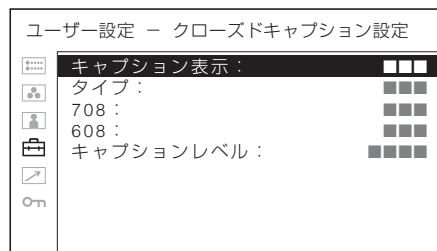
ファンを止めると本機内部が高温になり、製品寿命を縮めるおそれがあります。静音モードを使用している場合、内部回路の保護のために画面が暗くなり、入力切り替えボタンの LED が点滅する場合がありますが、故障ではありません。

スキャンモードイメージ

入力信号		
ノーマルスキャン (ゼロスキャン)		
オーバースキャン (5% オーバースキャン)		
ネイティブ (720p)	—	
ネイティブ (480i、575i、480p、576p)		—

画像をアスペクト比 4:3 で表示させるために、水平方向にスケール処理しています。

クローズドキャプション設定



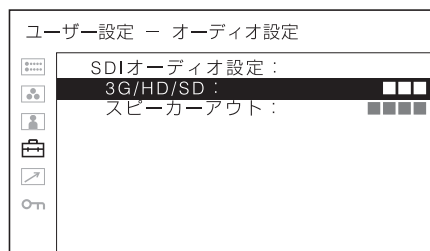
サブメニュー	設定
キャプション表示	クローズドキャプションを表示するとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。

サブメニュー	設定
タイプ	<p>クローズドキャプションの表示方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オート 1 : SD-SDI 信号入力の際に 608(VBI)*³ を、HD-SDI 信号入力の際に 708*¹ を自動的に表示する場合に選択します。 • オート 2 : SD-SDI 信号入力の際に 608(VBI)*³ を、HD-SDI 信号入力の際に 608(708)*² を自動的に表示する場合に選択します。 • 708 : HD-SDI 信号の 708*¹ を表示する場合に選択します。 • 608(708) : HD-SDI 信号の 608(708)*² を表示する場合に選択します。 • 608(VBI) : SD-SDI 信号入力の際に 608(VBI)*³ を表示する場合に選択します。 <p>*¹ 708 は EIA/CEA-708 規格のクローズドキャプション信号です。 *² 608(708) は EIA/CEA-708 規格で伝送される EIA/CEA-608 規格のクローズドキャプション信号です。 *³ 608(VBI) は 21 ライン上で伝送される EIA/CEA-608 規格のクローズドキャプション信号です。</p>
708	708 で表示する字幕を設定します。SERVICE1 から SERVICE6 の中から選択します。
608	608(708) と 608(VBI) で表示する字幕を設定します。CC1、CC2、CC3、CC4、テキスト 1、テキスト 2、テキスト 3、テキスト 4 から選択します。
キャプションレベル	文字の輝度を設定します。低、高から選択します。

ご注意

SDI 信号時のみ設定を変えることができます。

オーディオ設定

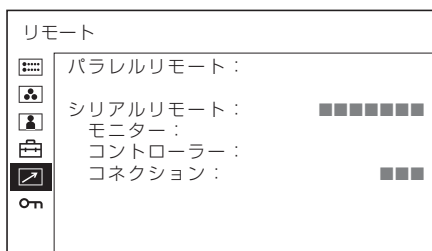


サブメニュー	設定
SDI オーディオ設定	<p>SDI 入力時に音声チャンネルを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3G/HD/SD : CH1 から CH16 までのチャンネルと、奇数チャンネル+偶数チャンネル (CH1+CH2、CH3+CH4...CH15+CH16)、オフから選択できます。 <p>設定したチャンネルの L/R の音声レベルを画面に表示することができます。 (「WFM/ALM/VECTOR (ウェーブフォームモニター/オーディオレベルメーター/ベクトルスコープ) 設定」(27 ページ) をご覧ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> • スピーカーアウト : スピーカー出力させる音声信号 (ヘッドホン端子、AUDIO OUT 端子を含む) を選択します。「エンベディッド」を選択すると SDI 信号に埋め込まれた音声が出力されます。「アナログ」を選択すると AUDIO IN 端子へ入力された音声が出力されます。

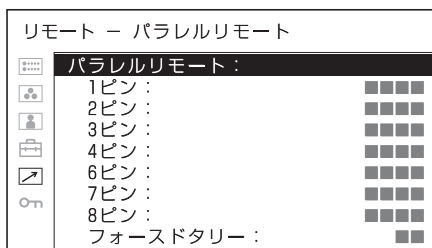
ご注意

SDI 音声信号は 24 ビットのみに対応しています。

リモートメニュー



パラレルリモート



サブメニュー	設定
パラレルリモート	<p>PARALLEL REMOTE 端子で機能を変更したいピンを選択します。 1 ~ 4、6 ~ 8 ピンに各機能を割り付けられます。割り付け可能な機能は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • --- (「---」は機能の割付なし。) • コンポジット • HDMI • SDI 1 • SDI 2 • WFM/ALM/VS • オーバースキャン • ノーマル • ネイティブ • 4 : 3 • 16 : 9 • タリ-赤 • タリ-緑 • ブルーオンリー • MONO • H/V ディレイ • 16 : 9 マーカー • 15 : 9 マーカー • 14 : 9 マーカー • 13 : 9 マーカー • 1.85 : 1 マーカー • 2.35 : 1 マーカー • 1.85:1 & 4:3 マーカー • 4 : 3 マーカー • センターマーカー • マーカーマット ハーフ • マーカーマット ブラック • セーフエリア 80% • セーフエリア 85% • セーフエリア 88% • セーフエリア 90% • セーフエリア 93%

ご注意

- パラレルリモートを使用する場合は、配線が必要です。詳しくは 36 ページをご覧ください。
- アスペクトマーカーやセンターマーカーをコントロールするには、マーカー設定のマーカー表示 (25 ページ) をオンに設定してください。

故障かな？と思ったら

お買い上げ店などにご相談いただく前に、次の事項をご確認ください。

- **操作ボタンを押しても操作できない** → キーロックが働いています。キーロックメニューでキーロックの設定をオフに切り換えてください。
または機能しない項目が割り当てられています。
RETURN（リターン）ボタンを押して割り当てられている機能を確認してください。
- **画面の上下に黒い帯が出る** → 信号のアスペクト比とパネルのアスペクト比が異なるときは、上下に黒い帯が出ますが、故障ではありません。
- **調整や設定ができない** → 入力信号や設定状況によっては調整や設定ができないことがあります。入力信号と調整項目（13 ページ）を確認してください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付保証書の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をさせていただきます。

主な仕様

画像系

パネル	a-Si TFT アクティブマトリクス LCD
画像サイズ	228.0 mm
表示エリア (H × V)	198.7 × 111.8 mm
解像度 (H × V)	1920 × 1080 pixels
アスペクト比	16:9
有効画素数	99.99%
視野角 (パネルの仕様)	89° / 89° / 89° / 89° (上 / 下 / 左 / 右、コントラスト > 10:1)
ノーマルスキャン	0%
オーバースキャン	5%

入出力系

入力

コンポジット入力 (NTSC/PAL)	BNC (× 1) 1 Vp-p ± 3 dB 負同期
SDI 入力	BNC (× 2)
HDMI 入力	HDMI (× 1) (HDCP 対応)
音声入力	ステレオミニジャック (× 1) − 5 dBu 47 kΩ 以上
パラレルリモート	モジュラーコネクタ 8 ピン (× 1)
シリアルリモート (LAN)	RJ-45 (× 1) (Ethernet、10BASE-T/ 100BASE-TX)
DC 入力	XLR 4 ピン (凸) DC 12 V (出力イン ピーダンス 0.05 Ω 以下)

出力

コンポジット出力	BNC (× 1) ループスルー、75 Ω 自動終端機能付き
SDI (3G/HD/SD) 出力	BNC (× 1) 出力信号振幅: 800 mVp-p ± 10% 出力インピーダンス: 75 Ω 不平衡
音声モニター出力	

ステレオミニジャック (× 1)	
内蔵スピーカー出力	0.5 W モノラル出力
ヘッドホン出力	ステレオミニジャック (× 1)

その他

電源	AC 100 V ~ 240 V、0.7 A ~ 0.4 A、50/ 60 Hz DC 12 V、2.5 A
消費電力	約 36 W (最大)
動作条件	温度 0 °C ~ 40 °C 推奨使用温度 20 °C ~ 30 °C 湿度 30% ~ 85% (結露のないこと) 気圧 700 hPa ~ 1060 hPa
保存・輸送条件	温度 − 20 °C ~ + 60 °C 湿度 0% ~ 90% 気圧 700 hPa ~ 1060 hPa
付属品	AC 電源コード (1) AC プラグホルダー (1) AC アダプター (1) ハンドル (1) アームマウントブラケット (1) ネジ (4) 取扱説明書 (1) CD-ROM (1) CD-ROM マニュアルの使いかた (1) 保証書 (1)
別売品	マウンティングブラケット MB-531 マウンティングパネル MB-532 モニター ENG キット VF-510

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

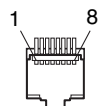
VCCI-A

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。
故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

ピン配列

PARALLEL REMOTE 端子

モジュラーコネクタ
(8 ピン)



ピン番号	機能
1	入力信号 SDI 1 を指定
2	入力信号 HDMI を指定
3	入力信号コンボジットを指定
4	タリールンプ緑の ON/OFF
5	GND
6	タリールンプ赤の ON/OFF
7	オーバースキャンの選択
8	ノーマルスキャンの選択

機能割り付けは、リモートメニューで変更できます (32 ページ)。

ご注意

連続して切り換え操作を行う場合、切り換えの間に 200 msec 以上あけてください。あけないと、正しく切り換わらないことがあります。

リモートコントロールを使用するための配線

リモートコントロールで使用したい機能をアース (5 ピン) に接続します。

対応信号フォーマット

本機は下記信号方式に対応しています。

システム	コンボジット	SD/HD	3G	HDMI
575/50i (PAL)	○	○	—	○
480/60i (NTSC)* ¹	○	○	—	○
576/50p	—	—	—	○
480/60p* ¹	—	—	—	○
640 × 480/60p* ¹	—	—	—	○
1080/24PsF* ^{1*2}	—	○	○* ³	—
1080/25PsF* ²	—	○	○* ³	—
1080/30PsF* ^{1*2}	—	—	○* ³	—
1080/24p* ¹	—	○	○* ³	○
1080/25p	—	○	○* ³	○
1080/30p* ¹	—	○	○* ³	○
1080/50i	—	○	○* ³	○
1080/60i* ¹	—	○	○* ³	○
1080/50p	—	—	○* ⁴	○
1080/60p* ¹	—	—	○* ⁴	○
720/24p* ¹	—	—	○* ⁵	—
720/25p	—	—	○* ⁵	—
720/30p* ¹	—	—	○* ⁵	—
720/50p	—	○	○* ³	○
720/60p* ¹	—	○	○* ³	○

○：調整・設定できる信号

—：調整・設定できない信号

*¹ フレームレート 1/1,001 にも対応しています。

*² 1080/24PsF、25PsF、30PsF は画面上のフォーマットはそれぞれ 1080/48i、50i、60i と表示されます。

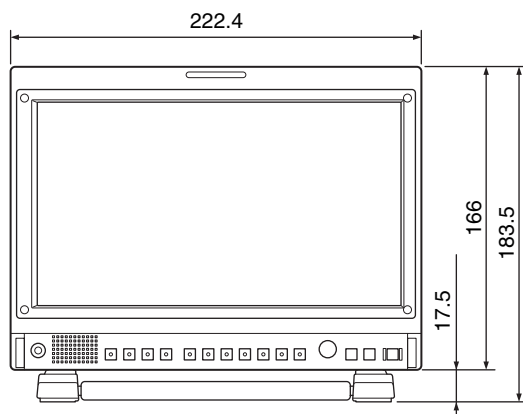
*³ 3G-SDI の 4:4:4 Y/Cb/Cr 10 ビットと 4:4:4 RGB 10 ビットに対応しています。

*⁴ 3G-SDI の 4:2:2 Y/Cb/Cr 10 ビットに対応しています。

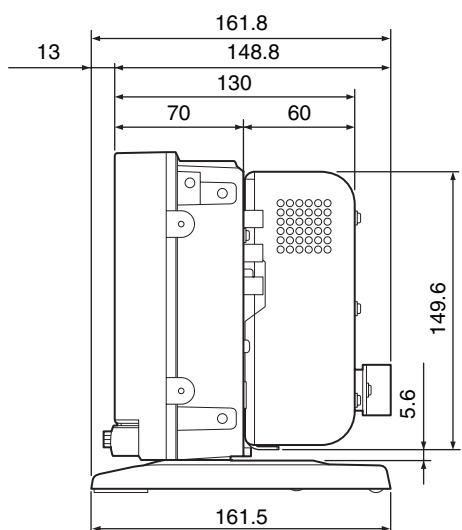
*⁵ 3G-SDI の 4:4:4 Y/Cb/Cr 10 ビットに対応しています。

寸法図

前面

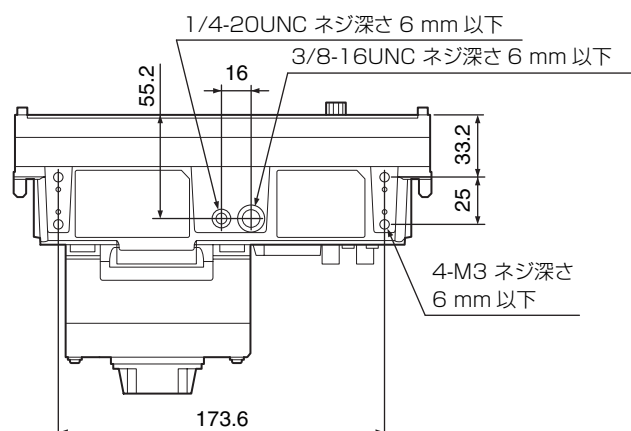


側面

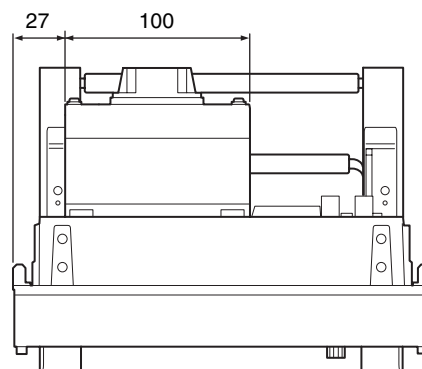


底面

(スタンド取りはずし時)

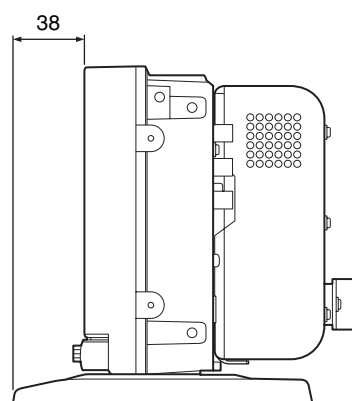


上面



側面

(スタンド取り付けネジ位置 B、C 使用時)



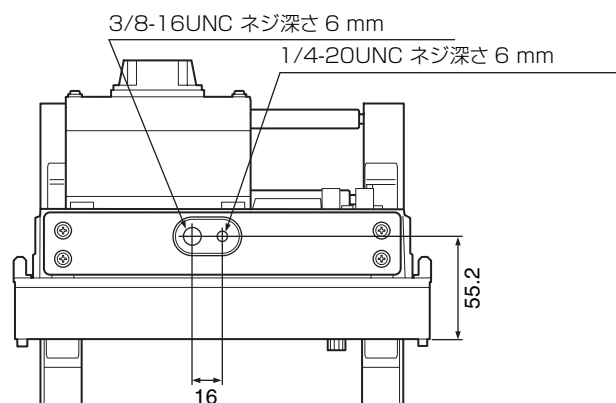
単位：mm

質量：約 2.0 kg

約 2.6 kg (AC アダプター装着時)

上面

(アームマウントブラケット装着時)



お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>